

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	令和 7 年 2 月 柴崎学習館運営協議会会議録概要
開催日時	令和 7 年 2 月 20 日（木曜日）18 時 30 分～20 時
開催場所	柴崎学習館 第 2 教室
次第	1 1 月定例会議事録の承認 2 報告事項 （1）各委員からの近況報告など （2）事務局からの報告 ・ 2 月に実施（開始）の事業について ①子育て世代のためのマナー・ライフプラン講座 ②家庭教育講座「ファミリー陶芸教室 マイ茶わんを作ろう！」 ③市民企画講座「パソコン講座 インターネット入門」 ④平和人権 16 ミリロードショー「原爆の子」 3 協議事項 （1）地域活性化講座の企画について ・ 企画テーマについて （2）第 48 回すわっ祭について ・ 第 1 回実行委員会について（報告） ・ 第 2 回実行委員会の内容について ・ ふりかえり会の日程について ・ その他 （3）その他 4 その他
配布資料	1. 令和 7 年 1 月 柴崎学習館運営協議会会議録概要 2. 第 48 回すわっ祭関連資料
出席者	〔委員〕 末松、檜崎、田村、服部、奥田、岡本、松本 〔欠席〕 米田 〔事務局〕 吉田、乾、加藤
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0 人
会議結果	1. 1 月定例会議事録の承認 ・ 指摘事項の修正後、承認。 ●司会：松本委員 2. 報告事項 （1）各委員からの近況報告など 檜崎委員：戦後 80 年の年。平和事業を協働事業としてすすめたい。

地域活性の面でも、戦争体験者に話を聞く機会を。

田村委員：盛況のうちに文化祭が終了。ふれあい祭を柴崎会館で予定。柴崎会館の広報紙を皆さんに配布。裏面にある利用者懇談会を、学習館の利用者懇談会の参考になれば。会館では毎年開催。防災訓練も兼ねている。

服部委員：R I S U R U小ホールで、オペラがあり、満席でした。立川市の文化水準の高さを感じた。

奥田委員：2月15日（土）開催の地域学習館運営協議会交流会に出席。地域と学校の連携についての話があった。ワークショップで、他館の方々と話す機会がありよかった。実際に他の学習館の様子を見に行けるとよいのではと感じたのでその旨提案した。マイケル・サンデル氏の談話が新聞に掲載されていた。「アメリカの分断を克服する1つの手段として市民生活における公園、公民館等、多様な階層の人が交わる場が大切だ」という話があった。改めて学習館のような場の有用性を認識した。

岡本委員：まちなえと2月号配布。にんカフェinふじみ(認知症カフェ)など気軽にご参加を。立川南口商店街謎解きイベントの紹介。同日に0円フリーマーケットの開催も。

松本委員：富士見町文化祭。3月1日、3月2日。滝ノ上会館の改築中に柴崎学習館を使わせてもらったことが、色々勉強になった。岡本委員とのつながりで様々な分野に広がりを持たせられたことに感謝。

（2）事務局からの報告

事務局：①子育て世代のためのマナー・ライフプラン講座：多摩信用金庫に依頼。イデコなどの質問多し。

②家庭教育講座「ファミリー陶芸教室 マイ茶わんを作ろう！」：親子層をターゲットとした企画で、盛況8組19名。

③市民企画講座「パソコン講座 インターネット入門」：やや下火か。今後再考。

④平和人権16ミリロードショー「原爆の子」：明日上映予定。

3. 協議事項

（1）地域活性化講座の企画について

事務局：次年度に向けて何かアイデアがあればお寄せください。

田村委員：2月15日研修会時に話題になった「地域学校協働本部」について、ペーパー等ありますか？

奥田委員：特になし。

事務局：文部科学省の計画に基づいており、市独自の施策ではない。立川市では小学校19校全てですすめている。市では、5か年計画（生涯学習推進計画）を作成中。その中でも触れている。（現計画でも同様に触れている。）大きな方向性としては、地域で子どもを育てる、みんなで一緒にという形。

	田村委員：具体的な実例が見えてこない。委員会からかかわりは持てるものなのか。 事務局：立川市民科で地域の人が授業をしている。 田村委員：学習館としての連携は？ 事務局：人材紹介。例）お囃子団体の紹介、すわっ祭の作品展示。学校側の意向に合わせているのが現状。 奥田委員：現実問題、先生の仕事量が多いので、地域からの働きかけが返って負担になってしまわないのか。 田村委員：一小わくわく（放課後見守りの）も変わる。どう、うまくいかせるのか。 服部委員：地域の人に関わる。先生が社会と関わるチャンス。子どもだけでなく、学校以外の接触を。 末松委員：管理職の考え方が重要になる。 檜崎委員：生涯学習審議会で学社一体を具体化させる話が出るが、以前から実現できていない。学校コーディネーターとの交流もすまない。他地域ではやっている。 事務局：比較的、学校とのつながりが持てているので、必ずしもコーディネーターの必要がないのかも。 檜崎委員：学校コーディネーターさんと話す場。 田村委員：P T A消失気味と聞いている。地域と学校の結びつきが薄い。 末松委員：校長先生も一緒にコーディネーターと自然に話せるといいが。 田村委員：企画テーマはいつまでに？ 事務局：テーマだけではなく中身も含めた企画だとありがたい。 田村委員：以前、テーマをあげたが、そのほかにとということか？ （２）第 48 回すわっ祭 ・ 第 1 回実行委員会について（報告） 各部門資料の確認。 作品展、各種催しは、順調に進行したため、第二回実行委員会はなし。 24 日舞台／檜崎委員：団体が増加。司会はなし。各団体で行うことに。良い雰囲気。 25 日舞台／事務局：中央ハーモニカサークルの時間変更があり、事務局案の時間割を提案。スタート時間が早まるが、従来通り。実行委員会でご検討を。服部委員：自主的に手が挙がるようになった。予想としては変更でよいのでは。ピアノ移動も定着してきている。皆さん、主体的です。 ・ 第 2 回実行委員会の内容について 音源提出の件、リハーサル時間の調整、昨年度は事務局一人で微調整。
--	--

	・ふりかえり会の日程について 事務局：ふりかえりと懇談会を同日にという話について、センター長出席の場合は、議会のため日程調整が必要。 各委員：話し合い。末松委員長とセンター長のスケジュール調整後、複数日、委員に提案し決定する。 ・その他 各委員：懇談会のチラシ案についてのディスカッション。4月以降の配布を目指し、精査していく。 以上 ※次回開催は令和7年3月28日（金）18時30分～予定
	教育委員会生涯学習推進センター 柴崎学習館 電話 042-524-2773